

# 補助犬は3種類



**もうどうけん**  
**盲導犬** は、  
しかくしょうがいしゃ  
視覚障害者の  
あんぜん ほんこう  
安全な歩行をサポート

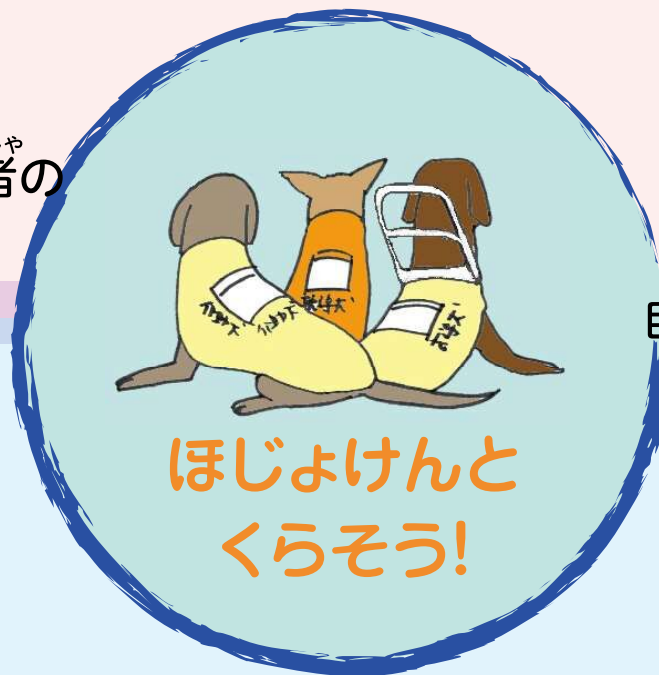


**ちょうどうけん**  
**聴導犬** は、聴覚障害者に代わって  
おと き し  
音を聞き、知らせる

**かいじょけん**  
**介助犬** は、  
したいふじゆうしゃ  
肢体不自由者の  
にちじょうせいかつどうさ  
日常生活動作をサポート



**ほじょけん**  
**補助犬** は、  
しょうしゃ しょうがいしゃ  
使用者である障害者の  
め みみ  
目となり、耳となり、  
てあし  
手足となって  
しょうしゃ じりつ  
使用者の自立と  
しゃかいさんか  
社会参加を  
サポートします。



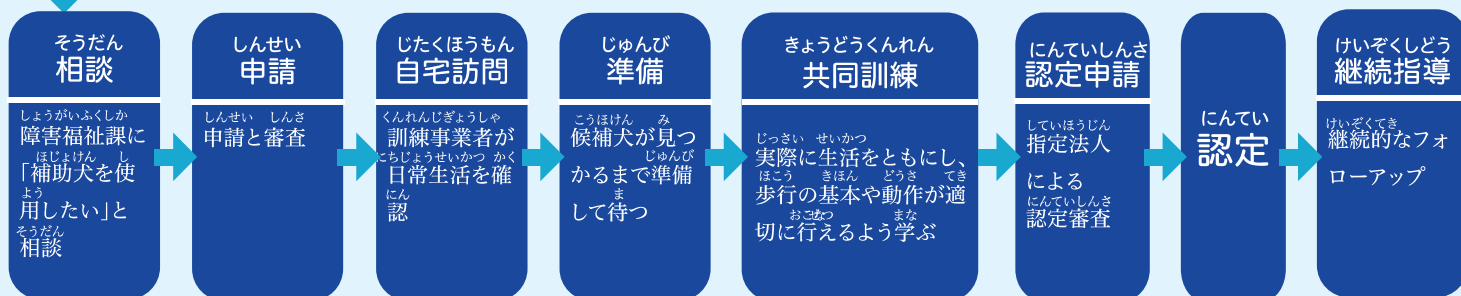
ほじょけんと  
くらそう!

ひとりでも多くの  
しょうがい ひと  
障害のある人が、  
じりつ しゃかいさんか  
自立と社会参加をする  
いよく も  
意欲を持てるよう、  
ほじょけん  
補助犬について  
まな  
学びませんか?

## 補助犬を希望してから、認定を受けるまで

しんたいしょうがいしゃてちょう  
身体障害者手帳を取得する必要があります

いくせいほじょぎょう  
まずは、育成補助事業を行っているお住まいの都道府県  
(政令市)に相談してみましょう。



ほじょけんしょう  
補助犬使用のポイントは裏面へ

# 補助犬と暮らすこと

## 犬の世話はどうする？

基本的に世話はできる限り自分で行いましょう！

ただし、負担となる場合には援助を依頼しても構いません。

お世話の仕方は、訓練事業者がしっかりと教えてくれるので、安心してください。



## 自分の犬を補助犬にできる？

補助犬には適性があるため、一般的にはご自分の犬を補助犬にすることはできません。

しかし、聴導犬の場合には訓練事業者によっては対応が違いますので問い合わせを確認してみましょう。

## 排泄物の処理はどうする？

犬は、うんちを1日に1～2回、おしっこを3～6回くらいします。

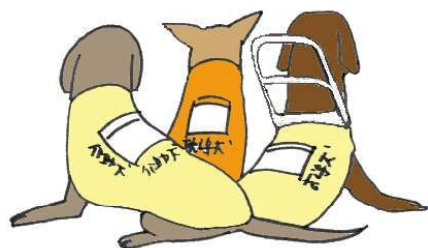
指示された時間と場所でするよう訓練されていますので、タイミングをみて排泄させます。

# 訓練や飼育にかかる費用はどのくらいかかるの？

訓練費用は、1頭当たり250～300万円程度かかります。

ほとんどの都道府県で補助があり、基本的に訓練事業者から無償貸与となります。

ただし、飼育費用や獣医医療費などは自己負担です。



## 補助犬にかかる費用の目安

● 訓練費用 約250～300万円／頭

基本的に自己負担はなし。

※ 殆どの都道府県の補助があり、また、訓練事業者から無償貸与となることが多い。

● 自己負担費用

○ 訓練時費用

宿泊費、交通費など（訓練事業費によって負担が異なる）

○ 飼育費用 約20万円／年

エサ代（大型犬の場合）、ペットシート代、その他（シャンプー、首輪、リード、おやつ、おもちゃ など）

○ 獣医医療費 約6万円／年

狂犬病予防接種、混合ワクチン、フィリア予防薬、ノミダニ予防薬、定期健康診断